

令和7年度 幼保小連携推進事業「授業と保育の相互参観（協議会）」

第3回協議会だより《北方部》

令和8年1月20日（火）10：00～12：00

【授業と保育の相互参観】 双葉幼稚園



双葉幼稚園は「丈夫な体と明るく豊かな心」を教育目標に掲げ、木の温もりが感じられる広い園舎で、安心・安全で充実した教育環境のもと、子どもたちが健康で明るく伸び伸びと、創造性豊かに成長できることを目指して保育を行っています。当日の公開保育では、全クラスが開放され、園児たちはそれぞれの教室でごっこ遊びや製作活動に熱心に取り組んでいました。特に年長児による「お店屋さんごっこ」は印象的で、参観者をお客様に見立て、射的や映画館、飲食販売などに友だちと協力して楽しむ様子が見られました。先生方は子どもたち一人ひとりに寄り添い、丁寧に対応するとともに、子どもたちの思いを尊重した内容により、園児の主体性の向上や笑顔あふれる育ちを促していることが感じられました。さらに、研究発表では、友だちや先生方との日々の関わりの中で子どもたちがどのように成長しているかについて具体的に示され、「10の姿」を意識した取組が子どもたちの意欲や自信の形成に確実につながっていることを、参加者全員で共有できました。

【協議会】 グループ協議で保育参観に対する感想・意見交換が行われました。

テーマ 幼保小の相互理解と円滑な接続の在り方について



① 保育参観について

- ・お店屋さんごっこが毎年恒例の行事になっているので、日々の積み重ねもあり毎年子どもたちからの発信が多く、先生方との関わりが見え、育ちの過程がよく分かりました。
- ・子どもたちの自分で考へての技・能力が素晴らしい個性あふれる作品がたくさんありました。また、挨拶もきちんとしているなど、発達段階に応じた主体的に活動する経験の積み重ねが大切であることが分かりました。

② 遊びや環境を通して育まれる資質・能力について

- ・子どもは失敗すること、特に小さければ小さいほど失敗することが大切だと思います。失敗がなかったら成長はないと思います。今後も遊びの中で様々な経験をさせていきたいです。

③ 就学にむけた幼保と小の情報共有について

- ・友だちとの関わりに問題がある子どもをどのようにすればよいか不安に感じています。

《参加者からのアンケート》

- ・お店屋さんごっこでは、子どもたちが主体となって活動していたことにとても驚きました。また、アザラシショーでの立ち振る舞いや物品の売り方の対応、呼び込み、劇など子どもたちが楽しそうで、見る人にも楽しさや頑張りが伝わるものでした。
- ・本日の公開保育は、子どもたちの日々の経験からくる積み重ねの集大成だと思いました。